

綾瀨市学校施設再整備方針・長寿命化計画
概要版

令和3年2月

綾瀨市教育委員会

綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画 概要版

再整備方針・長寿命化計画の背景と目的

綾瀬市の学校施設は、昭和40年代半ばから昭和50年代後半にかけて整備されたものが多く、建物の老朽化や設備の不具合等が顕在化しています。また、少子化などの社会状況や教育内容・教育方法等の多様化、防災機能の強化、バリアフリー、環境への配慮などの学校施設へのニーズが時代とともに変わり、必要な機能を十分維持できなくなりつつあります。

学校施設へのニーズに対応し、児童・生徒にとってのより良い学習・生活環境を確保するためには、既存施設の有効活用とともに適正規模・適正配置も考慮し、トータルコストの縮減と予算の平準化を図りながら、効果的・効率的な建替えや改修に計画的に取り組む必要があります。

そのため、本市では「綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画」を策定しました。本計画は「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針（平成28年3月）」（以下、マネジメント基本方針という。）の個別施設計画に位置付けられます。

計画期間

本計画の計画期間はマネジメント基本方針に合わせ、2021（令和3）年度から2055（令和37）年度までの35年間とします。また、マネジメント基本方針に基づくアクションプランと合わせて4期に分けた整備検討を行います。

対象施設

本計画の対象施設は、小学校10校（校舎及び体育館）及び中学校5校（校舎・体育館及び武道場）の合計62棟です。築年数については2021（令和3）年を基準とします。

表1 対象施設一覧（小学校）

小学校	建物名	延床面積 (㎡)	築年数	小学校	建物名	延床面積 (㎡)	築年数
綾瀬小学校	管理教室棟	7,038	11	天台小学校	管理・教室棟	1,632	47
	体育館・特別教室棟	2,009	42		教室棟	1,282	47
綾北小学校	本館	2,559	56	北の台小学校	教室・特別教室棟	2,245	46
	南館	1,134	53		体育館	696	44
	東館	1,331	51	落合小学校	管理・教室棟	2,625	46
	新館	593	40		教室棟1-2	1,449	42
	体育館	904	41		教室棟1-3	880	46
綾西小学校	管理・教室棟	2,568	52	体育館	739	43	
	教室棟	1,852	47	土棚小学校	管理・教室棟	3,044	45
	特別教室棟	844	40		教室棟	1,776	43
	増築棟	974	12		体育館	903	43
早園小学校	体育館	696	46	寺尾小学校	管理教室棟	3,186	41
	A棟	1,330	50		特別教室棟	2,154	41
	B棟	1,234	47		体育館	895	41
	C棟	1,148	43	寺尾小学校	教室棟	3,206	40
	特別教室棟	901	30		管理・教室棟	2,169	40
綾南小学校	体育館	696	45	体育館	897	40	
	管理・教室棟	4,485	49				
	体育館	696	45				

綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画 概要版

表2 対象施設一覧（中学校）

中学校	建物名	延床面積 (㎡)	築年数
綾瀬中学校	管理・校舎棟	3,522	16
	教室棟	2,715	43
	特別教室棟	1,032	31
	体育館	1,748	39
	武道場	323	13
綾北中学校	1号棟	2,255	49
	会議棟	222	27
	特別教室棟	1,350	44
	2号棟	2,071	47
	3号棟	1,012	45
	体育館	1,274	47
	武道場	355	9
	城山中学校	管理教室棟	3,001
教室棟	2,707	41	
特別教室棟	1,125	31	
体育館	1,259	44	
武道場	324	8	
北の台中学校	管理教室棟	4,866	41
	体育館・特別教室棟	2,710	41
	武道場	213	36
春日台中学校	管理特別教室棟	2,454	37
	特別教室棟	1,286	37
	教室棟2	2,331	37
	教室棟3	2,252	37
	体育館	1,612	37
武道場	323	13	

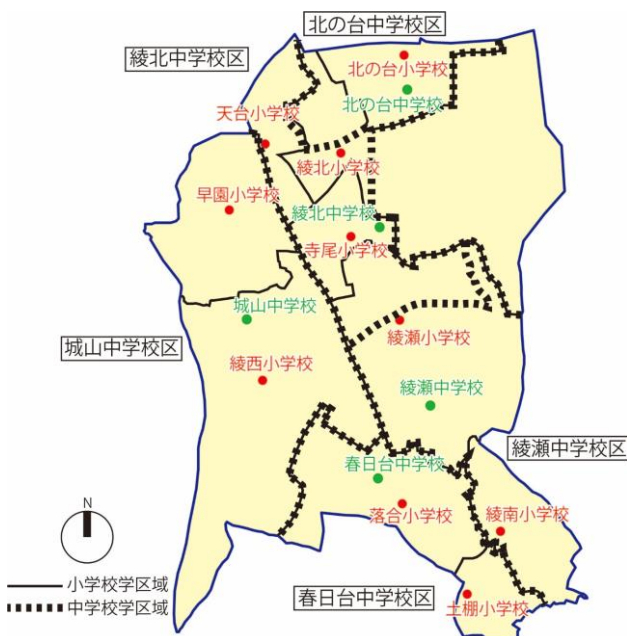


図1 対象施設の立地

学校施設の現状と児童・生徒数の推計

学校施設の保有状況

対象施設の総延床面積は 107,112 ㎡で、図2は築年別の整備面積のグラフです。対象施設 62 棟の内、54 棟は築 30 年を経過しており、保有床面積の 88%を占めます。綾北小学校本館をはじめ築 50 年を超える建物が 4 棟あります。40～50 年程度で建替える従来型の施設整備手法によると、今後の 15 年間にほとんどの学校施設が建替えの時期を迎えることになります。

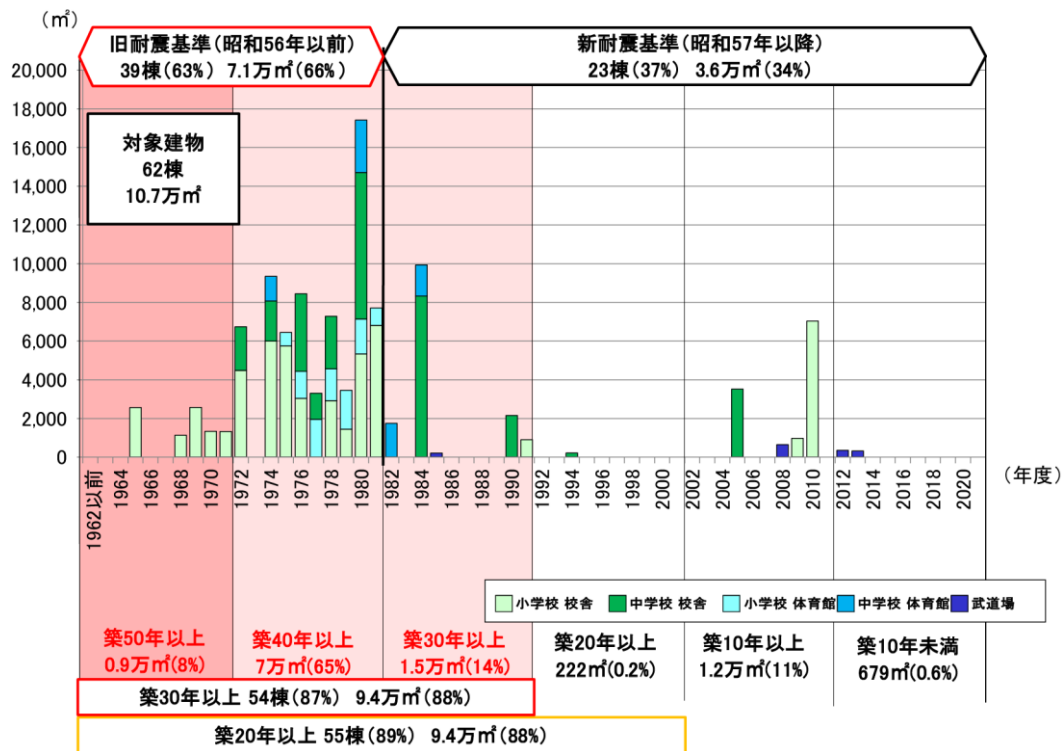


図2 築年別整備状況：2021（令和3）年度時点

本市の児童生徒数・学級数の推計

図3・4は2020～2060（令和2～42）年の市立小中学校の就学児童生徒数の推計です。2020～2025（令和2～7）年は住民基本台帳をもとに推計、2030～2045（令和12～27）年は新総合計画の人口推計をもとに独自に推計、2050～2060（令和32～42）年は2044～2045年の増減率を用いて求めました。

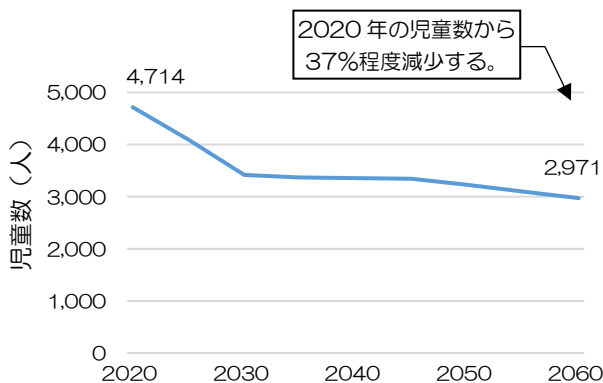


図3 小学校の就学児童数の推計（2020-2060）

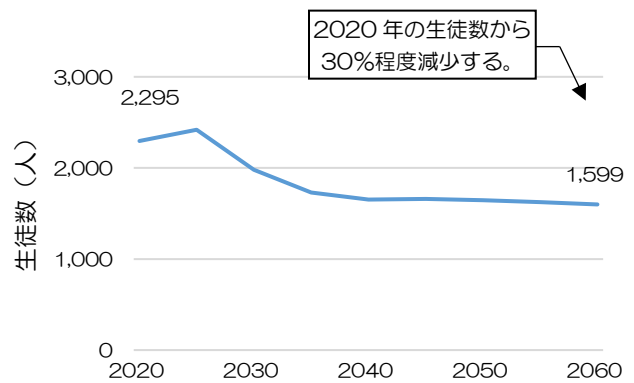


図4 中学校の就学生徒数の推計（2020-2060）

表3・4は2020～2060（令和2～42）年の市立小中学校の学級数の推計です。小学校は、2020（令和2）年以降、小規模校（11学級以下の学校）が増え続け、2060（令和42）年ごろには10校の内5校が小規模校となる見通しです。中学校は2060（令和42）年ごろに5校の内2校が小規模校となる見通しです。

綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画 概要版

表3 小学校の学級数の推計（2020-2060）

年度	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	
綾瀬小学校	28	24	22	22	22	22	22	22	22	
綾北小学校	15	13	11	12	12	12	12	12	12	
綾西小学校	24	17	12	12	13	16	16	16	16	
早園小学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
綾南小学校	15	12	10	12	12	12	12	12	10	
天台小学校	13	16	12	12	12	12	12	12	12	
北の台小学校	16	15	12	12	12	12	12	12	10	
落合小学校	12	10	10	12	12	12	7	6	6	
土棚小学校	11	8	6	6	6	6	6	6	6	
寺尾小学校	12	12	11	12	12	12	10	10	7	
凡例	7	11 学級/校 以下の場合				25	25 学級/校 以上の場合			
	6	6 学級/校 以下の場合								

表4 中学校の学級数の推計（2020-2060）

年度	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	
綾瀬中学校	14	16	12	12	12	12	12	12	12	
綾北中学校	18	17	15	15	12	12	12	12	12	
城山中学校	15	15	12	9	9	11	12	12	12	
北の台中学校	9	9	9	6	6	6	6	6	6	
春日台中学校	9	9	8	6	6	6	6	6	6	
凡例	7	11 学級/校 以下の場合				25	25 学級/校 以上の場合			
	6	6 学級/校 以下の場合								

学校施設再整備の基本的な方針

本市における学校施設の規模についての方針

本市では学校施設の標準規模の方針を以下の通りとし、学校規模の適正化に取り組みます。

小中学校の適正規模	・1 学級当たり 40 人（小学校 1～4 年は 35 人）、学校当たり 12～24 学級を適正な学校施設の規模とする。
-----------	--

※11 学級以下の学校を小規模校、25 学級以上の学校を大規模校と区分する。

改修等の基本的な方針

目標使用年数と改修サイクルの設定

築 40 年頃に構造躯体の改善を含む長寿命化改修を実施し、その前後 20 年に予防改修等を実施することを基本的な整備周期として、予防保全的な施設整備を行うことで 80 年を目標とした長寿命化型の整備を目指します。

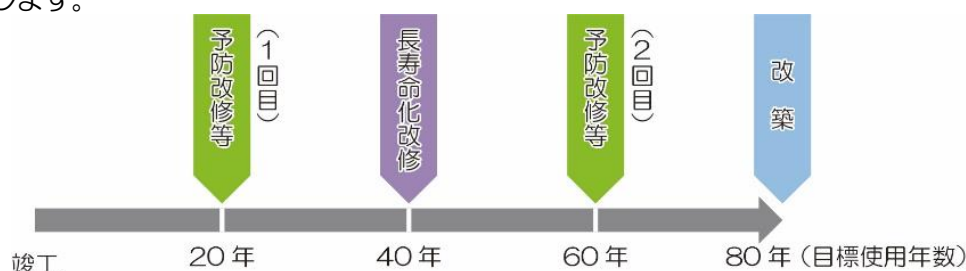


図5 基本的な改修周期（長寿命化型）

綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画 概要版

施設整備の水準

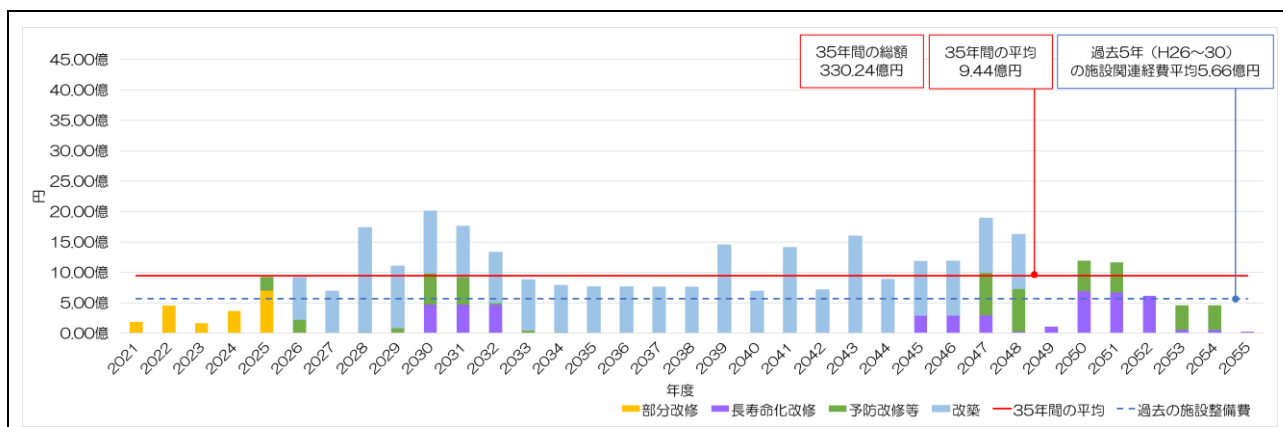
基本的な考え方として、高耐久な建材・工法を用いて建物の長寿命化を図るとともに、環境配慮型の整備を目標とします。また、長寿命化改修では学校規模を踏まえた減築や、教育内容・教育方法等の多様化に対応するための教室の配置・構成の変更、防災機能の強化、バリアフリー、環境対策なども検討します。

改修工事等の実施方法について

改修工事等の実施方法として、仮設校舎を使用する方法、夏休み中心に工事を実施する方法、余裕教室を活用する方法、廃校舎を活用する方法等が考えられます。本計画では、改築・長寿命化改修・予防改修等の工事の実施方法は、校舎等の配置や周辺環境への影響を考慮して、個別に検討することとします。

施設整備の実施計画

図 6 は 2021～2055（令和 3～37）年度の施設整備計画で、総事業費は 330.24 億円となり、年平均事業費は 9.44 億円です。築 50 年程度で改築を行う従来型（総事業費 397.17 億円）と比較すると、総額で 66.93 億円下回る効果があることが確認できました。



コスト算出条件

- ・ 整備時点で築 40～50 年程度の棟を長寿命化改修する。
- ・ 長寿命化改修を行わずに築 65 年を迎える棟は改築とする。
- ・ 工事期間は改築を 3 カ年、長寿命化改修 3 カ年、予防改修等 2 カ年とする。
- ・ 改築を行う場合、工事時の学級数から適正な規模を算定する。
- ・ 小規模校対策の検討に着手する時期を迎えた学校等について、適正配置を行う。
- ・ 改築はできるだけ同時に 2 校で行われない様にする。

図 6 35 年間の本計画における施設整備計画（中長期計画）

綾瀬市学校施設再整備方針・長寿命化計画 概要版

本計画における施設整備の期間と内容を表 5 に示します。長寿命化改修等について設計するとともに、小規模校対策の検討に着手する時期を迎える学校等の適正配置について検討を進めていくこととします。

表5 本計画における施設整備の期間と内容

施設整備の期間と内容	
第Ⅰ期 2021～2025 (R3～7)	対象校
	工事後すでに年数が経っている部位の部分改修工事等 綾北小学校・綾北中学校の改築について検討、土棚小学校などの適正配置の検討 第Ⅱ期対象校の検討・設計
第Ⅱ期 2026～2035 (R8～17)	対象校
	長寿命化改修・改築等工事（綾北小学校・綾西小学校・北の台小学校・綾北中学校） 土棚小学校などの適正配置の検討結果を踏まえた整備工事 第Ⅲ期対象校の検討・設計
第Ⅲ期 2036～2045 (R18～27)	対象校
	長寿命化改修・改築等工事（早園小学校・綾南小学校・天台小学校・綾瀬中学校・城山中学校・北の台中学校） 第Ⅳ期対象校の検討・設計
第Ⅳ期 2046～2055 (R28～37)	対象校
	長寿命化改修等工事（綾瀬小学校・寺尾小学校・春日台中学校）

第Ⅰ期では、部分改修工事を行いながら、建物の築年数や老朽化の程度を考慮し、第Ⅱ期における綾北小学校及び綾北中学校の改築について検討します。

また、小規模校対策の検討に着手する時期を迎える見通しである土棚小学校などの適正配置を検討します。学校規模を適正化するための方法には、通学区域の見直しや隣接校との統合が考えられます。通学区域の見直しや統合を実施しない場合は、減築を行うことが考えられます。

適正配置等を進めるに当たっては、保護者や地域住民、学校関係者などと協議し、理解を得ながら進めていきます。

短期計画

2021～2025（令和3～7）年の間は工事後すでに年数が経っている部位の部分改修と、予防改修を行います。また、2025（令和7）年以降実施予定の施設整備についての計画・設計期間とします。児童生徒の安全などに係る改修については必要に応じて実施します。

長寿命化計画の継続的運用方針

本計画は、長期にわたるものであり、この間に本市の上位計画の更新や建築関連法規・制度等の改訂、学校の適正規模や学級編制の考え方の見直し、小中一貫校・義務教育学校の設置の検討などが想定されます。また、事業の推進体制や整備水準等については、実施する工事の状況や改修・改築後の運用状況により、適宜改善していく必要があります。

このため、本計画は、5～10年毎に見直しを行うこととします。また、マネジメント基本方針等の上位計画が改訂される場合などには、その都度本計画の見直しを行うこととします。



綾瀬市教育委員会

発行年月 令和3年2月

編 集 教育部 教育総務課

〒252-1192 綾瀬市早川550番地

電 話 0467-77-1111 (代表)

FAX 0467-70-5705